



# キュウリは天候次第



今年はまだ葉っぱに病気が出始めました



花元にあるのが3cmほどのキュウリの赤ちゃんです



暑い日はやっぱりキュウリが食べたくなりますね

## ★収量がジェットコースターのように急変化

夏野菜のトップバッターとして、キュウリの出荷が始まっています。今年は春から異常気象とも呼べる高温が続いており、5月でも7月上旬並みの気温になっています。そうするとキュウリなどの夏野菜を体が欲するのは当然ですね。

夏の定番のキュウリは生育が早いのが特徴で、晴れていると花が咲いてから1週間～10日間ぐらいで収穫になります。特に最後の数日は1日で倍の大きさになるほど。高柳場長いわく「朝小さかったのが、夕方にはもう収穫、なんてこともある。生育条件が揃うと1日2回収穫しないと間に合わないなんてこともあるんだよ」とのこと。

ただ、生育が早い一方で、天候によって収量が大きく左右されるのもキュウリの特徴。まず、日照が不足すると花をなかなか咲かせません。花が咲いても曇天が続くと花が落ちる事がありますし、生育スピードも晴天時とは違います。

「キュウリは気まぐれなんだよ。曇り空と低温で予定の半分以下しか獲れず、しばらく出来ないと案内したら、今度は天気が回復して急に獲れだしてな。どうしようか？なんてことで振り回されちゃうんだよ」また病気も出やすく、無農薬栽培だとある程度の病気が出るのは仕方が無いこと。今年はまだ病気が出始めましたが、今のところ大きくは広がっていません。収量がジェットコースターのようにアップダウンするので、注文通りとはなかなかいかないのですが、「食べたい！」というご要望に応えるべく、高柳家総出で頑張っています。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

## 【産地情報】

◎ピーマンは5/26から、またミニトマトは6月から出荷開始予定です。